



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 株式会社ショーエイコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 9385 URL <https://www.shoei-corp.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝原 英司
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部門担当 (氏名) 稲谷 和樹 TEL 06-6233-2636
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	4,650	△2.1	254	20.3	266	21.6	168	26.9
2025年3月期第1四半期	4,749	△4.7	211	20.4	219	△69.6	132	△77.0

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 116百万円(△32.6%) 2025年3月期第1四半期 173百万円(△70.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	21.76	—
2025年3月期第1四半期	17.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	10,638	4,239	39.8	548.61
2025年3月期	10,433	4,276	41.0	553.47

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 4,239百万円 2025年3月期 4,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,545	8.0	1,401	87.4	1,332	78.3	900	92.7	116.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期1Q	7,850,000株	2025年3月期	7,850,000株
2026年3月期1Q	122,736株	2025年3月期	122,736株
2026年3月期1Q	7,727,264株	2025年3月期1Q	7,727,264株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、賃上げに伴う所得環境の改善による個人消費の持ち直しや、インバウンド消費の拡大などにより、緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、物価上昇の継続や為替相場の変動、米国の関税政策の動向等が国内景気の下押しリスクとして懸念される状況となり、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、原料価格の高騰、為替相場の先行きが見通しづらい中、輸入仕入価格の上昇等厳しい事業環境が続いております。そのような中で収益性を高める体質に変革することが必要であることから、引き続き高付加価値商品の開発に加え、仕入調達ルートの見直しや仕様変更、継続的な投資といった収益改善に努めつつ、お客様の要望をくみ取り応えるサービスを提供できる総合支援メーカーとして、当社グループの総力を結集し企業価値を高めてまいります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,650百万円(前年同期比2.1%減)となりましたが、利益面につきましては、仕様変更やサプライヤーの変更といった収益改善に努めた結果、営業利益は254百万円(前年同期比20.3%増)、経常利益は266百万円(前年同期比21.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は168百万円(前年同期比26.9%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(営業促進支援事業)

当セグメントにつきましては、お客様自身の営業活動を促進していただくために、商品や販促品の企画開発から、アSEMBリなどの生産支援、配送にいたるまで商品・サービスの提供をする事業であります。

資材や販促品キャンペーンを軸とする販売については、高付加価値製品のリピートが順調に推移したものの、販促企画案件については大口の減少を新案件で穴埋めできなかったことで前年同四半期を下回りました。OEMについては、自社工場を活用した雑貨や化粧品等のピロー包装やアSEMBリ作業は受注が引き続き好調で、日用雑貨品の充填等についても既存先からの新案件の獲得並びに増客もあって前年同四半期を上回りました。また発送代行については、ECへの移行といった環境の変化による通数の減少があったものの、ゆうメール案件数の増加があり前年同期を上回りました。しかし収益認識基準による相殺額の増加により売上への寄与が小さくなったことから結果的には前年同四半期を下回りました。

利益面につきましては、高付加価値製品の販売が拡大したこと、またアSEMBリ案件の増加に伴う自社工場の稼働率が高かったことから、セグメント利益額、利益率ともに増加いたしました。

その結果、売上高は2,323百万円(前年同期比1.6%減)、セグメント利益は125百万円(前年同期比38.0%増)となりました。

(商品販売事業)

当セグメントにつきましては、100円ショップやドラッグストアなどの小売販売店に向けて、商品を企画提案し、製造・調達し、提供する事業であります。

100円ショップ向けについては、高額商品の投入や消臭袋及び鮮度保持袋に代表される付加価値の高いポリエチレン製品を中心として堅調に推移し、また機能性・利便性・アイディア性といった付加価値の高い雑貨商品の売上も好調でありました。しかしながら、定番商品において収益確保が難しい商品の仕様変更を進めていき、為替や原材料価格、人件費の高騰に対応したことで、コスト構造の改善には寄与したものの売上高は前年同四半期を下回りました。量販店向けについては、ポリ製品は100円ショップ向け同様安定した売上があるものの、収益性を高める方針のもと低利益率の商品の販売を縮小していることが影響し前年同四半期を下回りました。

利益面につきましては、収益性の高い製品を導入できたことや、市場価値に合った仕様変更を引き続き進めていったこと、またサプライヤーの開拓等を行うといった原価低減に努めたことから、セグメント利益額、利益率ともに増加いたしました。

その結果、売上高は2,379百万円(前年同期比1.6%減)、セグメント利益は129百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は10,638百万円となり、前連結会計年度末に比べ205百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金や商品及び製品等が減少したものの、現金及び預金が増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は6,399百万円となり、前連結会計年度末に比べ242百万円増加しました。これは主に未払法人税等や長期借入金等が減少したものの、短期借入金等が増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は4,239百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円減少しました。これは主に為替換算調整勘定が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,110,707	1,340,952
受取手形及び売掛金	2,363,294	2,314,687
電子記録債権	701,026	690,936
商品及び製品	1,692,345	1,611,871
仕掛品	170,947	214,630
原材料及び貯蔵品	399,696	425,759
その他	198,540	178,024
貸倒引当金	△3,765	△3,888
流動資産合計	6,632,794	6,772,974
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,510,513	1,480,513
その他(純額)	1,262,785	1,253,789
有形固定資産合計	2,773,299	2,734,303
無形固定資産		
その他	48,733	49,445
無形固定資産合計	48,733	49,445
投資その他の資産		
その他	1,017,603	1,120,796
貸倒引当金	△38,800	△38,628
投資その他の資産合計	978,803	1,082,168
固定資産合計	3,800,836	3,865,917
資産合計	10,433,630	10,638,892
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,118,716	1,196,098
短期借入金	2,330,000	2,580,000
1年内返済予定の長期借入金	312,357	320,157
未払法人税等	120,997	72,289
未払消費税等	58,100	78,605
賞与引当金	122,779	71,566
その他	425,886	482,857
流動負債合計	4,488,837	4,801,573
固定負債		
長期借入金	1,110,841	1,040,641
退職給付に係る負債	60,655	51,602
長期末払金	137,022	137,022
その他	359,461	368,803
固定負債合計	1,667,979	1,598,070
負債合計	6,156,816	6,399,643

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	715,615	715,615
資本剰余金	807,752	807,752
利益剰余金	2,238,836	2,252,425
自己株式	△56,918	△56,918
株主資本合計	3,705,285	3,718,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	211,542	221,050
繰延ヘッジ損益	△1,308	2,198
為替換算調整勘定	361,294	297,124
その他の包括利益累計額合計	571,528	520,372
純資産合計	4,276,814	4,239,248
負債純資産合計	10,433,630	10,638,892

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	4,749,686	4,650,573
売上原価	3,680,746	3,515,342
売上総利益	1,068,939	1,135,230
販売費及び一般管理費	857,251	880,474
営業利益	211,688	254,755
営業外収益		
受取利息	183	52
受取配当金	5,319	26,045
為替差益	12,726	3,096
デリバティブ評価益	313	—
資材売却収入	1,328	1,426
その他	438	307
営業外収益合計	20,308	30,928
営業外費用		
支払利息	6,239	15,415
貸倒引当金繰入額	3,600	—
その他	2,682	3,335
営業外費用合計	12,522	18,750
経常利益	219,474	266,933
特別損失		
固定資産除却損	0	13,002
特別損失合計	0	13,002
税金等調整前四半期純利益	219,474	253,931
法人税、住民税及び事業税	49,590	66,010
法人税等調整額	37,398	19,785
法人税等合計	86,989	85,796
四半期純利益	132,485	168,135
親会社株主に帰属する四半期純利益	132,485	168,135

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	132,485	168,135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,204	9,507
繰延ヘッジ損益	△1,407	3,507
為替換算調整勘定	4,176	△64,170
その他の包括利益合計	40,973	△51,155
四半期包括利益	173,459	116,979
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,459	116,979

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	営業促進支援 事業	商品販売 事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,361,910	2,387,775	4,749,686	4,749,686
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	30,928	30,928	30,928
計	2,361,910	2,418,704	4,780,615	4,780,615
セグメント利益	90,831	120,857	211,688	211,688

(注) 報告セグメントの利益の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており差額はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	営業促進支援 事業	商品販売 事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,323,637	2,326,935	4,650,573	4,650,573
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	52,780	52,780	52,780
計	2,323,637	2,379,716	4,703,353	4,703,353
セグメント利益	125,381	129,373	254,755	254,755

(注) 報告セグメントの利益の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており差額はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	43,718千円	53,142千円